

日本発ドイツ便り～森を散歩

今回、ウィーンを後にして、飛んだ先はニュルンベルク。おなじみの街です。でも今回は現地の友人達に珍しい、でもドイツ人にはとってもおなじみの場所に連れて行ってもらいました。

行き先は「森」です。ドイツでは、大きな街でも車で1時間も行けば(大小は問わず)森があります。日曜日の午後とか、森をのんびり散歩なんていうのがドイツ人は大好きです。春には野生のベリー、秋になれば、きのこを採りに森に行きます。大体どこも散歩道が整備されていて、1時間コースとか、2時間コースとか、初心者向けとか、いろいろコースがあります。

麓には駐車場があって、近くには、Biergarten(ビアガルテン)もあります。「天気の良い日は営業」と書いてあったので、「うんうん、これって今日みたいな日だね。」ともう帰りに頼むビールとお料理まで考えている人も。☺



日本では「日本アルプス」のように山がたくさんある場所を「アルプス」と言うようですが、ドイツでは、同じように山がたくさんあるところを「～のスイス」と呼びます。今回行ったのはフランケンの山岳地帯なので、Fränkische Schweiz (フランキッシェ シュヴァイツ:フランケンのスイス)と言います。



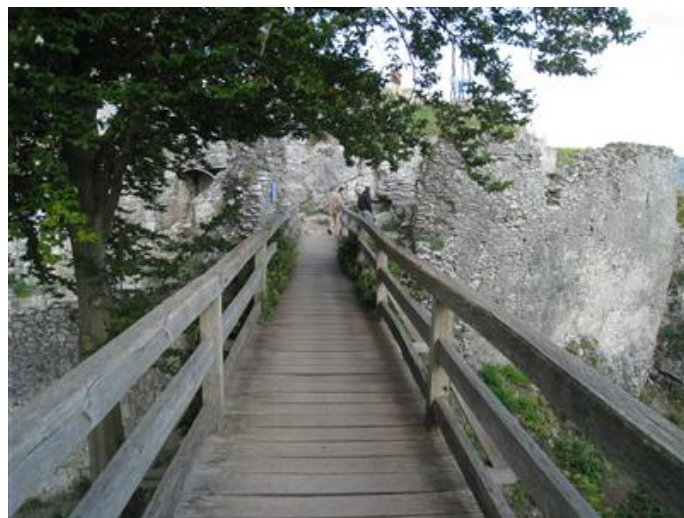
散歩開始！途中道しるべがあるので、迷うことはありません。

この日はいい天気で気温も高かったのですが、森に入るとひんやりと空気が澄んでいました。
いい空気を吸って、毒気が抜けるようです。☺

途中、結構な傾斜を登りつつ(といってもちゃんと木や石で階段のようになっています。)段々山を登っていきます。



山の上にはこんな廃墟になったお城が…。第1目的地です。Neideck という名前です。
といってももう1500年ごろから廃墟だったようで、1750年ごろに作られたヴェルツブルクのレジデ
ンツ(世界遺産)を作るときに、このお城に使われていた大理石を運んで使った、という記録がある
そうです。説明文や発掘記録を見ると、かなり大きなお城だったようです。
なんと、今年の8月から、この廃墟になった塔に入れるようになったとか。



木の橋を渡って…。(下は絶壁です。)



ポツンと一本生えた木がなんだか渋い感じです。



塔の上からの風景、感動ものの美しさ！でした。川岸では、フライフィッシングをしている人がいましたよ。この川で取れる鯉をつかった料理がこのあたりの名物なんだそうです。



塔の上にはこんなマークが。風見鶏のような役目でしょうか？

廃墟を後に、第2の目的地へ！



こんな感じで、途中にはザイルにしがみ付かないとよじ登れないような急な斜面もありました。
登るより、降りるほうが怖かった…。降りるときは後ろ向きに降ります。



登ったところには鍾乳洞！中は結構広いです。いやあ。自然って不思議ですね。
張り紙によれば、中にはこうもりが生息しているそうです。



歩いているうちに、だんだん日が落ちてきました。森の中の夕陽もいいものです。



途中には、あんまり見たことがない小さな花がたくさんありました。食べられるのかどうか分かりませんが、キノコもいっぱい生えてましたよ。

散歩して、ちょっと汗をかいて、太陽も沈んできて・・・。

お腹も空いたし、喉も渴きます。

あとはもちろん美味しいビール？

《次回に続く》